



宇津木台 森遊会 実施報告

「第2回定例活動」

No.2016-02

実施日	2016年5月22日(日) 9:30~12:30	天候: 晴れ	記録: 金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者: 4名(男性2、女性2) 矢島、後藤、中野、中村(弘) インストラクター: 金森		

実施内容

活動6年目の第二回目。良く晴れたが気温と湿度は低く、作業に適した快適な一日だった。

3日前の19日に実施した八王子市立石川中学校2年生約200名による体験学習授業の現場を確認する。ノコギリを使用して笹を刈ったため道具の忘れ物、刈り残しがないか確認する。

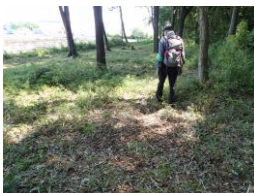
問題は無く、ゴミを拾う程度、この小川に沿ったエリアはすっかり綺麗になった。大人数のパワーを感じた。次に竹林へ移動する。

約一か月前に笹を全て駆除したはずだが、伐った大木のすき間などに残ったものが竹になる直前まで成長している。これらを全て伐りはらう。100本以上あったが15分ほどで作業を終えた。穂先笹としては成長し過ぎて食用には向かない。こうして今年も適正な密度を保っている。

滑走路(コンクリート広場)に移動して除伐で出た枝を下の斜面に処分する。枝が積まれていた下に大量に積もった腐葉土を除去する。スコップと竹ほうきで綺麗にした後は雨で洗い流され、日光による乾燥を待つしかない。腐葉土の中にはミミズが大量に暮らしていた。

短い時間で盛りだくさんの内容だったが、精鋭4名による手際良い作業で達成感は抜群であった。

次回は、滑走路に若干の枝が残ったのでこの片づけと花が終わった生垣の剪定、巣箱の使用状況を確認する。



総合学習の現場を確認する



大きな問題はなし



大人数の力は凄い



竹林では伐り残しが成長中



今年の新竹はほぼ伐り終えた



適正な密度を保っている



滑走路に移動して伐った材や積み積もった腐葉土を撤去する



滑走路に移動して伐った材や積み積もった腐葉土を撤去する



コンクリート広場として利用できそう



少数精鋭4名



巣箱もよく見えるようになった



若干の枝を残して終了

連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋小1個を指定の場所に置く。